



Title	顎関節変性疾患におけるバイオマーカーに関する研究 [全文の要約]
Author(s)	服部, 倫寛
Description	この博士論文全文の閲覧方法については、以下のサイトをご参照ください。 https://www.lib.hokudai.ac.jp/dissertations/copy-guides/
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(歯学)
Dissertation Number	甲第15027号
Issue Date	2022-03-24
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/85658
Type	doctoral thesis
File Information	Michihiro_Hattori_summary.pdf



学位論文内容の要約

学位論文題目

顎関節変性疾患におけるバイオマーカーに関する研究

博士の専攻分野名称 博士（歯学） 氏名 服部 倫寛

顎 関 節 変 性 疾 患 （ Degenerative joint disease of the temporomandibular joints : DJD-TMJ ） は、関節組織の変形と同時に生じる下顎頭や関節結節の変性疾患である。顎関節のみならず変形性膝関節症などの変形性関節疾患の臨床において、放射線画像診断が主要な診断法であるが、疾患早期段階で生じる関節軟骨の破壊を描出することができない。したがって、疾患の程度や進行の予測性などに有用なバイオマーカーの同定が重要である。本研究では、特発性あるいは進行性下顎頭吸収（ICR/PCR）患者に対して採血・採尿を実施し、患者の血清 CCL5 濃度を調べ、バイオマーカーとしての有用性を検討した。また、血清および尿中の骨代謝マーカーレベルも測定し、顎関節変性疾患の発症と全身骨代謝との関連の有無を検討した。